

表彰

「厚生労働大臣表彰」を受けて

JCHO 横浜中央病院 鎌田英明

この度、社会保険支払基金の審査員を永年務めた功労ということで、「厚生労働大臣表彰」を頂くことができました。

昨年の9月、支払基金に行くと、突然事務の方が来て、「この度はおめでとうございます。先生が厚生労働大臣表彰に選ばれました。」と言います。20年くらい基金の審査員をしていると何か頂けるらしいということは聞いていましたが、まだやっと10年を超えたばかりで、自分がその対象になろうとは思いませんでした。

10月末に霞が関の厚生労働省で行われた授与式に出席してきました。「やはり、燕尾服で行かれるのですか？」という冷やかしの声もありましたが、「平服」で行って来ました。私は単身で行きましたが、和服姿のご夫人同伴の先生方も多くおられ、華やいだ雰囲気の中にも式は粛々と執り行われました。授与式に参加して改めて名誉なことなのだ実感した次第です。

その後、神奈川県医師会からも関連で表彰を受けましたし、勤務している病院では病院長自らが音頭を取って祝賀会を開いてくださり、病院の仲間達からも祝福してもらえました。更には神皮の有志の先生方からも大宴会(?)を開いていただきましたし、孫からもお祝いのプレゼントをもらえる等、私にとって本当に良い年となりました。

このような名誉な表彰を受けることができましたのも、審査員にご推挙いただいた先生方、並びに私が就任した当時の主任審査員であられた大城戸宗男先生を始めとした審査のノウハウをご指導くださった先生方、更には基金に出かけることを蔭ながら支えてくれた当時の羽尾貴子医長を始めとした外来スタッフの皆さんのお蔭によるものと、改めてここに感謝の言葉を述べさせていただきます。

基金での挨拶の際、私自身照れもあって、この表彰を受けるということは、もう引退しても良いということかという発言をしたところ、これから益々精進するようということだと釘を刺されてしまいました。老体にムチ打ちもう少し保険審査の適正化のために御奉公させていただきたいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。



表彰状



病院祝賀会（前列中央が筆者）

神奈川県医師会学術功労者表彰と 菊地記念メダル表彰を受けて

宮本皮フ科 宮本秀明

昭和47年に始まった「神奈川県医師会学術功労者」表彰を受けたのは、神奈川県皮膚科医会会員としては私が8人目だそうです。今回平成27年度の被表彰者は全科で7名で、この中から川口賞表彰と菊地記念メダル表彰が1名ずつ選ばれましたが、思いもよらなかった「菊地記念メダル表彰」まで受け、感激しました。この表彰は生涯教育に尽力された大和医師会の菊地先生の功績を称えて作られたものです。

1. 「神奈川県医師会学術功労者」とは？

推薦依頼書には「神奈川県医師会会員であって医師会員歴が10年を超す者で、学術的貢献が著しい者」とあり、さらに最近10年間の論文の数（5編以上）等の内規があり、除外項目として「大学に在籍中の者および学位取得のために在籍し、研究中の者、もしくはその時の論文を公表している者」など計5項目が記してありました。これを満たす人など県内にゴマンといるだろうと思いつつ、磯子区医師会長の武安宣明先生に相談すると「是非是非やりましょう」と積極的にご推薦下さり、他区の某医師会長からも励ましをいただきました。

県医師会に提出した業績目録：著書2編（講談社刊『皮膚病アトラス』の分担執筆）、原著・症例報告10編、うち9編は単著あるいは筆頭著者、うち2編は英文、学会発表12回、その他講演、地域における学術活動・テレビ出演などは15項目あり、いずれも最近10年間の業績です。平成27年4月で開業後10年が経ちましたので申請しました。

2. 謝辞

確かにこの表彰は論文が無いと貰えません。しかし単著あるいは筆頭著者にせよ、自力では論文は出来ません。横浜市立大学附属市民総合医療センターで年に7～8回行われる横浜皮膚疾患研究会には、検討症例を出したりして諸先生方にご指導いただきました。また駆け出しの頃、論文の書き方を手取り足取り教えて下さった中嶋弘名誉教授、手術のやり方を手取り足取り仕込んで下さった故内山光明先生、有難うございました。

以下は神奈川県皮膚科医会の会員の方々です。3年前に受賞なさった栗原誠一先生のご指南「県皮膚科医会会員である日臨皮会誌や皮膚病診療の編集幹事のコネを大いに利用しよう」にも従いました。諸雑誌の編集幹事の浅井俊弥先生、畑康樹先生、堀内義仁先生、論文依頼や校正を有難うございました。雑誌の巻頭言みたいなものの依頼もあり、掲載して下さいました。決して繁盛しているとはいいいない我が診療所に、多数の手術症例を開業以来ご紹介し続けて下さった横浜市皮膚科医会の元会長の村上通敏先生、有難うございました。難しい症例の紹介を多数受けて下さった済生会横浜市南部病院（元）部長の木花光先生、現部長の高江雄二郎先生、諸先生方、有難うございました。



前列中央がメダルを持つ筆者、向かって左が菊地記念メダル表彰状を持つ武安医師会長、後列左が山高副会長、右が楯を持つ箕原副会長、前列右が学術功労者表彰状を持つ林副会長（磯子区医師会館にて）